

農業生産の拡大

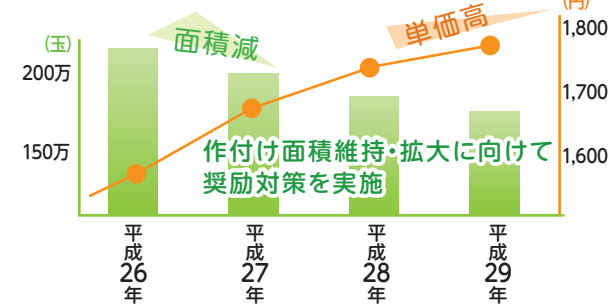
生産部会ごとに積極的な取り組みが行われています

園芸

●瓜類奨励対策

主力作物である春夏大玉西瓜作付面積の維持・拡大、出荷量増大に向けた奨励対策を部会と検討しています。

春夏大玉西瓜出荷数量・単価推移表



●西瓜生産量確保に向けた多収取り(省力化)試験栽培への取り組み

西瓜栽培の後半の時期に、市場から求められる要望数量に対して、出荷量が少なくなる傾向があります。後半の作型で生産量確保のため、多収取り栽培の試験に取り組んでいます。

●デコポンの台木転換

デコポンの生産性及び合格率向上に向け、既存園芸ハウスの特性を生かすことができるヒリュウ台木への転換をすすめています。【本誌12月号に詳細掲載】

果樹

●果樹経営支援対策事業

落葉果樹、常緑果樹ともに、栽培面積維持・拡大のため、国・県の補助事業を活用しています。



●ホオズキ栽培方法切り替えで 労力軽減・安定収量の確保



ホオズキ栽培では、植え方を従来の横植えから、苗の間隔が一定になる縦植えに転換し、間引きの手間を省いています。それにより実の大きさのばらつきが減り安定した収量を確保できています。

花卉

●菊の年末相対取引

菊の販売については、生産者所得安定のため予約相対取引(数量・価格を市場と事前に交渉)を行っています。取り組みは20数年前から行っています。

地域の活性化



地域の活性化のため、直売所ファーマーズマーケット夢大地館で周年祭と感謝祭を開催しています。生産部会では、小学校や福祉施設などへの農産物贈呈も行い、地域住民の産地農産物認知度向上をはかり、地産地消に取り組んでいます。



JA鹿本は各事業を通じ、長期ビジョンである

創造的自己改革の実現に向けて取り組めます！ 次月号に続く▶▶▶

農業者の所得増大

●試食宣伝販売会の実施



県内をはじめ全国各地のスーパーや百貨店等で生産部会の女性部による試食宣伝販売会を行い、夢大地かもとブランドの認知度向上に努めています。

●卸売関係者と精度の高い情報共有

生産部会では卸売関係者と情報共有を行うことで、産地の生産状況や消費地の動きなどを共有し、計画的な販売を行っています。

出荷大会や反省会等の会議を産地で卸売関係者を交えて開催しています。また、瓜類出荷時期には週1回程度、会議を開催し、安定した単価の確保、有利販売に向けて取り組んでいます。



●トップセールスの実施

市場での初売り時や出荷ピーク時などにJA常勤役員や生産部会組織役員によるトップセールスを行っています。夢大地かもとブランドの更なる認知度向上と有利販売になるよう努めています。



●いちご新品種栽培への取り組み

早期出荷で多収量が期待でき、県の育成品種である「ゆうべに」の生産拡大に取り組んでいます。

●農産物直売所

ファーマーズマーケット夢大地館は年間約73万人(平成28年度レジ通過者)を超える消費者の方々へ安全・安心な地元農産物の提供を行っています。また、地元農家の所得増にも貢献しています。



ファーマーズマーケット夢大地館

●こだわり商品への取り組み

園芸・果樹では基本栽培だけでなく、栽培方法にこだわった特別栽培で、付加価値をつけた販売を行い、所得増大を目指しています。こだわり商品の主な品目としては、よかよか西瓜、種なし西瓜、黒皮西瓜、特選アールスメロン、特裁温州みかん、デコポンこだわり商材等があげられます。



特選アールスメロン